

## SC-10. よくある状況

### “A common situation”

by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

シャフルボードには、プレー中に再三再四起こる状況が多くある。これらの状況をあらかじめ分析し、正しいショットを決めておいて、戦いの最中にあわてて間違ったショットをしないようにしよう。このような状況の一つを第 44 図に示す。

イエローが先ずセントピートを置き、ブラックがクリアした。イエローは再びセントピートを置き、ブラックがクリアしそこなったので、イエローは自分の第 3 ショットをセントピートの背後に隠そうとした。しかし、自分のセントピートに少し触れて、コースが変わり、まる見えの 7 得点になった。

これはしばしば起こる状況だ。今、ブラックは、イエローのワイド（広い）セントピートとブラック側ボード上のイエロー 7 を見ている。ブラックはどのようなショットをすべきか？

(1) イエロー 7 をクリアする。これはイエローに、その背後に隠すことができるセントピートを残す。

(2) イエロー 7 をブラック 7 と入れ替え、イエロー 7 をキッチンに入れる。これはイエローに、7 と 10-OFF を入れ替えるチャンスを残す。

(3) イエロー 7 をボード外に突き出し、ブラック 7 と入れ替える。これはイエローに、好都合のキッチンショットを残す。

(4) イエロー 7 にスナグル（直ぐ手前に得点）する。これはショットが正確であれば、悪くない。

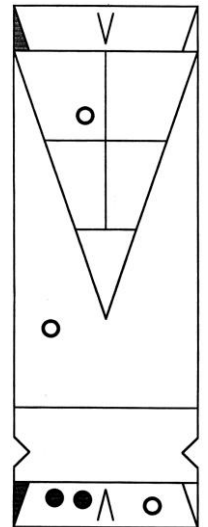
多分、ベストの選択は（4）のスナグルだ。イエロー 7 の少し外側の方にスナグルするのが良い。それがうまくいけば、イエローは難しいショットを強いられることになる。

スナグルをショートする、又は内側の方に置くと、イエローが 2 つ得点する可能性がある。スナグルが強すぎると、イエローは好都合のキッチンショットを持つだろう。

コートが良く走らないなら、勿論クリアだ。しかしコートが非常に良く走り、ブラックがそれにうまく対応していたなら、ブラックは、イエロー 7 の左に当てるカット・キッチン(cut kitchen)をプレーしてもよい。ブラックはキュー・ディスクをイエロー 7 の左端に向けてシュートし、イエロー 7 をキッチンのトライアングルの右側に入れようとする。

ブラックが 75 ポイントゲームでリードしている時は、スナグルは、ブラックがゲームポイントに近づくのを早めるので、一層魅力的である。即ち、7 イエロー、15 ブラックは、得点差は同じでも、0 イエロー、8 ブラックよりも望ましいスコアである。

(訳者注: 米国のトッププロ Lary Faris が、新聞に連載した”Shuffleboard Coach”の抄訳。)



第 44 図